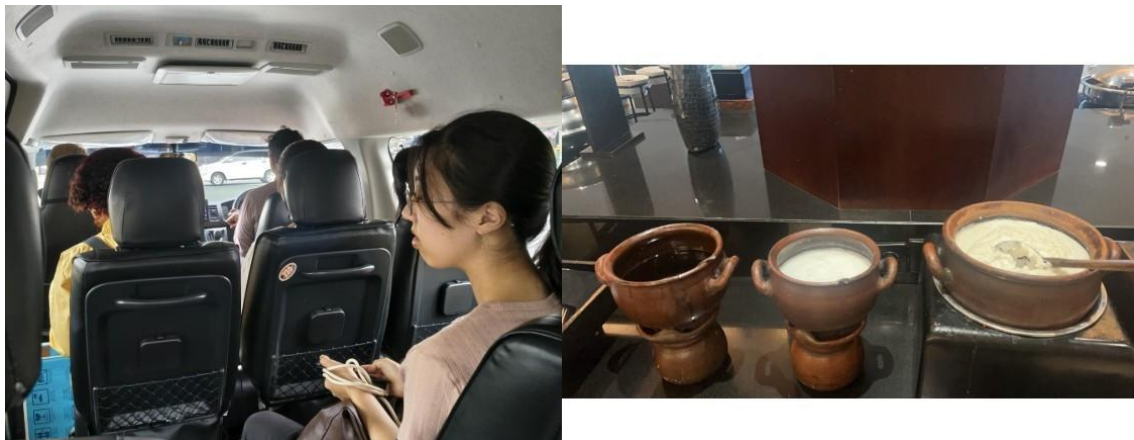


6:00～9:00 朝食&出発

昨日と同じように各自ホテルで朝食をとりました。

アンデス先生がおすすめしていた Bubur sumsum や、Gudeg、Guava juice などのインドネシアらしい食事が多くありました。

ロビーに 9:00 に集合し、今日ガイドしてくれるガジャ・マダ大学の生徒のキヤさんと一緒にバスで移動しました。



9:30～11:45 Sonobudoyo Museum

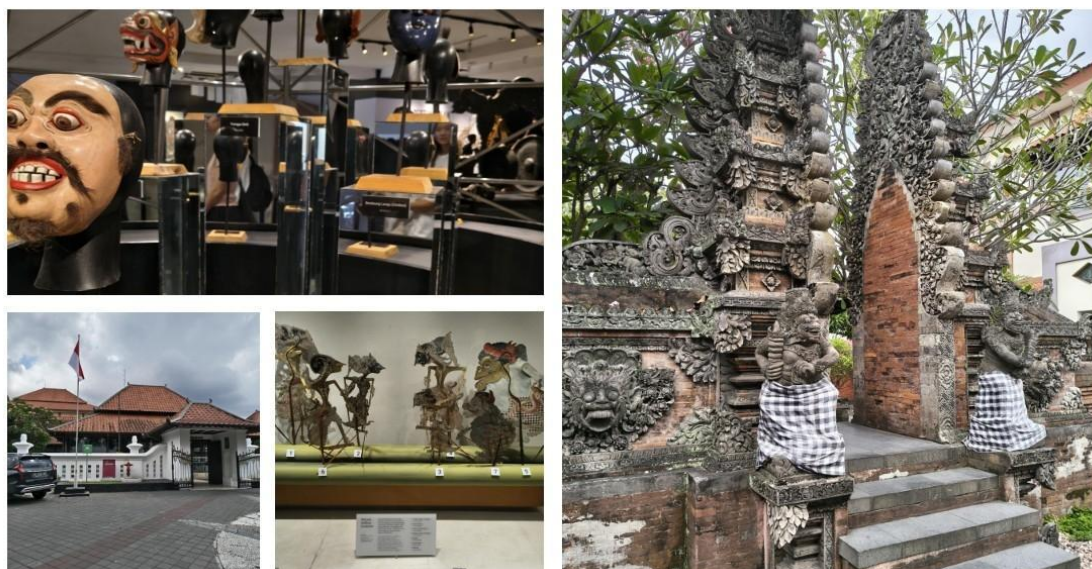
主にジャワ島の歴史や文化、伝統について学びました。

先史時代のジャワ原人の遺産、イスラム教の布教に関する資料、貴重な Wayang や Batik などの伝統的な文化の資料、最先端の技術を取り入れた映像展示などがありました。

建物は新旧の 2 棟があり、新しい建物は 2023 年に完成した 6 階建ての建物で、多くの展示品を間近で見ることができました。

武器の資料だけでも約 1000 点保管されており、また図書館にはオランダ語の本が多く残されていることから、インドネシアの貴重な資料を保存、展示する重要な場所であるといえます。

日本語が堪能なガイドの方に案内してもらい、より理解を深めることができました。
ジャワ語や昔ながらの玩具、お金の価値など、今と昔で変化した事柄についてもガイドの方の経験談を踏まえた説明があり、近い将来に本来は身近なものであった文化が形を変えてしまうことについて、日本と通じるところもあり考えさせられました。



12:00～13:30 Vredeborg Fortress Museum

キヤさんに英語で説明してもらい、その後アンデス先生が日本語に通訳して説明してもらいました。

この建物は 1764 年にクラトンを監視するために、オランダがその近くに建てたものであり、現在博物館として利用しています。

インドネシアの 20 世紀以降の歴史に関する展示が中心でした。

戦争の前後の歴史、独立とその後の国内の動きについてをジオラマや展示してある資料を通して学びました。

展示を見終わったら、戦後のインドネシアの選挙制度や政治が現在の国の在り方にどのように関わっていて今後どうなっていくのかについて考える時間がありました。

違う国の話だからと他人事としてとらえずに、自分でさまざまな視点の情報や知識、対話をもとに考えることがグローバルな考え方をする上で重要だと思いました。

近くにある大統領がジョグジャカルタを訪れた際に利用する建物の外観を見ました。
大統領が不在の際は他の用途で活用されてはいないそうです。
この付近は、観光地としてとても賑わっていました。



14:00~15:50 昼食 Balé Raos

王宮の料理を再現したレストランで、一人当たり 100000 ルピアしないくらいの値段でした。

バスの運転手さんにおすすめしてもらった焼き鳥や牛の煮込み料理、キャッサバとココナッツと食パンが入ったジュースなど各自気になったものを注文して食べました。

メニューが料理名以外は英語で書かれてあり、写真もついていたので何が使われている料理なのかはわかりやすかったです。

敷地内には噴水や池があり、鯉のような魚が泳いでいたり、黄色い花が咲いている木があったり、王宮をイメージしているような雰囲気のお店でした。

他のお客さんを見てみると、観光客向けのお店のように見えました。



16:15～18:00 休憩

昼食後に行こうとしていた宮殿が閉まってしまったので、みんなが疲れていることを考慮してホテルでの休憩時間にしてもらいました。

18:00 にロビーに集合するときに、ちょうどガムランと歌の演奏が始まり、それを鑑賞してから歩いて夕食へ向かいました。

18:00～19:00 夕食 Mbah Hadi Javanese Noodle

ホテルの方から紹介していただいたレストランに向かったら、初日に夕食を食べた場所と同じでした。

初日に食べた時もおいしかったので、また来れてよかったです。

ナシゴレンやお茶、麺料理、きゅうりの漬物、ジャワの醤油などを食べました。

料理はどれもニンニクに似ているものが振りかけられていておいしかったです。



19:00～20:00 カフェ NJ coffee&rooftop

夕食を食べたレストランの近くにあるカフェに入りました。

ビルの屋上にあり、屋根がない開放的なカフェで夜景を楽しみました。

コーヒーやチョコレートラテを頼み、写真を撮ったり、みんなとの会話を楽しんだりして帰りました。

ホテルに着いて解散となりました。

